

事務事業名		市民保養施設給排水設備改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	生活安全係		担当課長名	菊地昌之	
	施策	1 心と体の健康づくりの推進					新規事業・継続事業			新規事業		
	基本事業	1 健康づくりの推進と情報の発信					実施計画事業・一般事業			一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	7744	一般	4	1	7	市民保養施設給排水設備改修事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業			市単独事業		
事業計画	単年度のみ		事業期間		H26年度～H26年度	根拠法令 条例等	佐野市市民保養施設条例					
	事業区分						任意的事業・義務的事業			任意的事業		
	事業区分						実施方法			直営		
事業区分						事業分類			施設維持管理事業(市以外が主体)			
事業区分						リーディングプロジェクト			該当なし			
事業区分						市長マニフェスト			該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成25年度実績(平成25年度に行った主な活動内容)						
市民保養施設「レイクサイド佐野」の加圧給水ポンプが、経年劣化により水圧等の調整ができなくなり、また、購入後19年経過し、交換する部品もないことから、改修工事を実施する。 工事期 7月～12月		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		改修する設備数	基		1			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
施設利用者		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		施設利用者数	人		6,671			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
施設利用者に対し、快適に利用できる環境を整備する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		工事進捗(整備)状況	%		100.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	73.8	75.8	76.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	財源内訳	千円										
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			2,268							
	事業費計(A)	千円		0	2,268	0	0	0	0	0	0	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					工事請負費	2,268						
	人件費	人			1				0			
のべ業務時間	時間			120				0				
人件費計(B)	千円		0	473	0	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	2,741	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業名	市民保養施設給排水設備改修事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	生活安全係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成26年5月にの加圧給水ポンプが、経年劣化により水圧等の調整ができなくなり、また、購入後19年経過し、交換する部品もないことから、改修工事を実施する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	無
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	無

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市の所有する施設の機械設備の性能維持のため市において事業を実施する
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の所有する施設の機械設備のため市において事業を実施する
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	利用者に不便をきたし利用者数の減になる前に改修する必要がある。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	経年劣化により改修が必要となった設備なので、現状維持するために実施する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	当該事業に必要な工事費用のみ計上した。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	公共施設の整備改修は市の負担で行うものである。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	当該設備の工事が完了したとき廃止できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			